

東京2020オリパラ選手村で活用の秦野産材 子どもたちへの記念品などに生まれ変わります

全国63の自治体が参加した、「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」プロジェクトに提供していた秦野産ヒノキ（約6立方メートル、201本）が1月24日に返却されました。

この秦野産材を、東京2020オリパラで活用されたことへの誇りと温もりを身近に感じられるよう、有効活用するとともに、今後の利用促進につなげます。

1 活用方法

(1) 次世代を担う子供たちへの記念品

ビレッジプラザへの提供材の一部に、北小学校の学校林のヒノキが使用されていることから、北小学校の全児童と北中学校の全生徒に提供材を加工して作成した記念ストラップを贈呈します。



もりりんをプリントした記念ストラップ

(2) 公共施設にベンチを設置

多くの方の目に触れ、利用していただくため、提供材をできるだけ加工せずに製作したベンチを3月上旬ごろに公民館（11か所）とメタックス体育館はだの（総合体育館）に設置します。

ベンチには、ビレッジプラザで使用された木材であることを示す「USED IN VILLAGE PLAZA」の焼印を押します。



オリパラの記憶を後世に

(3) 選手・大会役員のサイン入り木材の展示

選手村ビレッジプラザを利用した選手や大会役員のサインが入った提供材をメタックス体育館はだの（総合体育館）に展示しています。

【主なサイン記入者】

レスリング 文田健一郎選手（銀メダル）、
女子バスケットボール 町田瑠唯選手、宮
崎早織選手（銀メダル）、橋本聖子大会組織
委員会会長



提供材の3本にサインが記入

問い合わせ

環境共生課森林里山担当 電話0463（82）9631